

フォーラム 2012

参加費 無料
要申し込み



“地域力”を 生かす

包括的支援 のあり方を探る

12月15日(土)

13:00～17:00

山口県立大学
講堂

山口市桜島3-2-1

学生・一般市民のみなさんも
ふるってご参加ください！

申し込み・問い合わせ
山口県立大学地域包括ケア研究会
担当：横山
〒753-8502
山口県山口市桜島3-2-1
電話/FAX 083-928-4772
mail: yokoyama@yamaguchi-pu.ac.jp

2012年4月施行の改正介護保険法により、地域では医療・介護のサービスを切れ目なく提供する「地域包括ケア・システム」の構築が求められています。

一方、山口県では中山間地域が広く、その地域ごとの特性を考慮した小地域における「地域包括ケア」のあり方が模索されつつあります。

今回は、平素の地域保健活動の成果が東北大震災で顕わとなった貴重な経験を有する岩手県の実践者を招き、これからの地域包括ケアのあり方について考える機会としたいと思います。

<基調講演>

「地域包括ケア～“見えにくさ”と“描く力”～」

太田貞司（聖隷クリストファー大学院）

<実践報告>大震災で見えてきた地域ケアの課題

「唐丹生活応援センターにおける地域ケア実践」 臼澤まき子（釜石市保健師）

<シンポジウム> 地域包括支援システムに“地域力”をいかに生かすか

行政機関 臼澤 渉（釜石市）

地域包括支援センター 秋重郁子（防府市）山本せつ子（岩国市）

社会福祉協議会 河村博之（防府市）

コメンテーター： 太田貞司（聖隷クリストファー大学）

コーディネーター：横山正博（山口県立大学）

後援：山口県、岩国市、防府市、山口県立大学附属地域共生センター
社会福祉法人山口県社会福祉協議会、社会福祉法人岩国市社会福祉協議会、社会福祉法人防府市社会福祉協議会
山口県地域包括・在宅介護支援センター協議会、山口ソーシャルワーク研究会